温小だより

文責
校長　高橋雄司

広島修学旅行の再開

令和五年六月八日～九日、六年生は広島修学旅行に出かけました。G7サミット開催の関係で、例年より時期を遅らせての実施となりました。

一日目は雨模様でしたが、平和公園では、現地ガイドさんの説明を聞きながら、「碑めぐり」をしました。続いて資料館内を見学し、各自の課題について調べ学習に取り組みました。事前に本やDVDなどで学習してきましたが、実際に現地を訪れて学習を深めると、平和の尊さについてより深く考えることができました。

二日目は天候にも恵まれ、JFEスチールの見学後、みろくの里で楽しい時間を過ごしました。

学校に帰ってきた子どもたちは、やや疲れた表情も見られましたが、楽しい思い出ができたことに満足した様子でした。お土産を抱えながら、迎えの家族と帰宅しました。二日間の出来事や思い出を各家庭でたくさん話したことでしょう。

そもそも、「修学旅行」はいつからあったのでしょうか。日本で最初の修学旅行は、明治時代までさかのぼります。東京師範学校で「長途遠足」という名前で取り組まれました。その後名称が「修学旅行」となり、昭和三十三年の学習指導要領の改訂で、修学旅行は学校行事の中の教育活動の一つとして位置づけられ、現在に至っています。

学校週五日制の実施に伴い、学校行事等の精選が行われ、多くの学校では春と秋に実施していた全校遠足がどちらか一回となりました。しかも、六年生と五年生は、修学旅行や宿泊研修があるため、遠足に参加しない学校もあります。それぞれの行事の意味を再確認し、子どもたちに付けたい力やねらいをより明確にして内容を吟味し、取り組まなければなりません。

修学旅行に話を戻すと、島根県内の小学校では修学旅行先に広島を選ぶ学校が多くありますが、少子化や経費の高騰に伴う保護者負担の増加が大きな課題となっています。他校との合同実施などを含め、よりよいあり方をこれからも検討していく必要性を感じています。

【修学旅行の振り返りから】

しっかり深く考えることができました。説明してくださる方に感謝の気持ちを示し、資料館でいっぱいメモがとれました。

資料館では、きちんとメモをとり、平和の大切さを学びました。（戦争になると）こんなことになってしまうんだと思いました。

JFEスチールでは、鉄の板を作っているところがすごかったので、しっかりと見学しました。

見学先では、真剣に聞くことができました。とくに心に残っているのは平和記念公園です。悲しい気分にもなったし、戦争がもうなくなってほしいと思いました。

【今後の主な行事予定】

六月二〇日（火）～二六日（月）　ゆのつっ子　元気週間
六月一九日（月）　二年まき作り体験
六月二三日（金）　一～四年生遠足
六月二六日（月）　一・二年共進会参加
六月二九日（木）　クラブ、耳鼻科検診
七月　三日（月）　下校指導
七月　四日（火）　全校朝礼
七月　五日（水）　四年浄水場見学
七月一三日（木）～一四日（金）　個人面談
七月一九日（水）　地区班会　児童総会
七月二〇日（木）　一学期終業式

メロン摘果作業体験

毎年三年生は温泉津メロンの学習をしています。今年は井田の山下さんのメロンハウスで摘果作業の体験をさせていただきました。美味しいメロンを育てるための大切な作業の一つです。今後は収穫作業の体験もさせていただく予定です。

３年生福光川探検

三年生は、アクアスタッフの方の協力を得ながら、福光川を探検し、生き物調査を行いました。上流と下流の二か所で、生き物に違いがあることがわかりました。

交通安全教室

今年の交通安全教室は、一・二年生は道路の歩き方と横断歩道の渡り方の実地練習、三年生以上はＤＶＤを視聴しながら、危険な自転車の乗り方について警察の方から指導を受けました。自転車はヘルメットを着用して身を守り、同時に車両として歩行者を守る義務があることを改めて学習しました。

1･2年生どろんこ遊び

一・二年生は今年もどろんこ遊びに挑戦しました。石原さんのご協力を得て、学校前の田んぼで楽しく遊びました。

遠足顔合わせ会

四年生が中心となって、遠足の班の顔合わせ会を行いました。遊びの計画も話し合い、四年生にとってはリーダーシップを発揮する場となっています。